

(18) キジハタのブランド化に関する調査研究

予算

運営費交付金

概要

大阪府ではキジハタのブランド化を目指しており、そのための調査研究が研究所の役割となっている。令和元年度は健全種苗生産技術開発およびブランド化支援を行った。健全種苗生産技術開発では形態異常防止対策として、市販の仔魚保護液の効果を検証した。保護液を使用して飼育した結果、形態異常発生率に大きな変化は確認されなかった。ブランド化支援として、簡易輸送法の検討をするため、市販の活魚輸送袋を用いた輸送試験を行った。その結果、袋の破損を防ぐプラスチック板を同時梱包する必要があるものの、従来の輸送方法より重量を半減させることが可能となった。

担当者

辻村浩隆